

【公開文書】

臨床研究

「最新型半導体検出器装置を用いた骨シンチグラフィの BONENAVI 解析結果の妥当性評価」 について

筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

近年、当院に最新の半導体検出器を搭載した装置（GE社製「Discovery NM/CT 670 CZT」）が導入され、高空間分解能による小病変描出能や画像のコントラストの向上が期待される。当院の半導体カメラで骨シンチグラフィが撮影された症例を対象に、BONENAVI 解析結果と核医学専門医による視覚的評価を比較検討する。結果が大きく異なる症例の頻度を明らかにすると共に、その原因を追及したい。

② 研究対象者

2019年1月～2020年6月に当院で骨シンチ検査を受けられた患者様

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年3月31日まで

③ 研究の方法

骨シンチグラフィの BONENAVI 解析結果と核医学専門医による視覚的評価を比較検討する。

④ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

骨シンチグラム全身像

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

該当なし

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

金田 朋洋（筑波大学医学医療系 放射線診断・IVR科 教授）

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線診断・IVR科 金田朋洋

電話・FAX・メール等（対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法）

電話：029-853-3205（放射線科医局、平日9:00～16:00）